

実務確認・フィードバックへのご協力をお願い

産業廃棄物の事務を、 現場と一緒に考える。

受入・処分に関わる事務を支えるWebシステムを試作しています。
現在の業務と照らして、率直なご意見をいただきたいと思います。

まずは試作をご覧ください、実務との違いを教えてください。

当時の仕事

約8年前、 産廃の記録・ 集計を担当

この業務を扱うために、自分で
Excel/VBAを設計・作成しました。

01

受入・処分の情報を記録

受入日、会社・工事、廃棄物の種類、
数量、処分情報を扱っていました。

02

工事ごとに数量を集計

日々の記録から、工事別の集計数量を整理していました。

03

県への報告に集計数量を使用

Excel/VBAで算出した数量を、実際の報告に使っていました。

当時の実務で使ったExcel/VBA

本人

1人で設計・作成

本人を含む事務担当者

3名が実務で利用

契約情報

入力

日次処理

工事別集計

県への報告に
集計数量を使用

処理記録：メイン画面

産業廃棄物処理記録									
受入日	会社名	工事名	廃材種別	数量(t)	処分日	処分業者	マニフェストNo.	備考	
XX/1/1	会社A	工事1	殻類	1.00	XX/1/2	処分会社A	000000000000	—	
XX/1/1	会社B	工事2	殻類	1.00	XX/1/2	処分会社A	000000000000	—	
XX/1/1	会社C	工事3	殻類	1.00	XX/1/2	処分会社A	000000000000	—	
XX/1/1	会社A	工事1	殻類	1.00	XX/1/2	処分会社A	000000000000	—	
XX/1/1	会社B	工事2	殻類	1.00	XX/1/2	処分会社A	000000000000	—	
XX/1/1	会社C	工事3	殻類	1.00	XX/1/2	処分会社A	000000000000	—	
XX/1/1	会社A	工事1	殻類	1.00	XX/1/2	処分会社A	000000000000	—	
XX/1/1	会社B	工事2	殻類	1.00	XX/1/2	処分会社A	000000000000	—	

ピボット集計表

会社名	工事名	数量(t)	台数(台)	売上金額(円)
会社A	工事1	1.00	1	¥1,000
会社B	工事2	1.00	1	¥1,000
会社C	工事3	1.00	1	¥1,000
会社A	工事4	1.00	1	¥1,000
会社B	工事5	1.00	1	¥1,000
会社C	工事6	1.00	1	¥1,000
会社A	工事7	1.00	1	¥1,000
会社B	工事8	1.00	1	¥1,000

過去に実務で使用したExcel/VBA（掲載用に明細をダミーデータ化）

当時の改善が、 社長表彰に つながりました

過去のExcel/VBAによる
業務改善

当時の勤務先の業務改善企画で

社長表彰

を受賞しました。

対象は約8年前の取り組みです。
現在のWeb試作の導入実績ではありません。

ここからは、現在の試作の話です。

現在は、 受入・処分の事務を 支えるWebを試作

舗装・合材事業に関連して、
産廃を受け入れ・処分する
事業者の事務を想定。

過去の実務経験と、
デジタルハリウッドでの学びをもとに、
Web技術とAIの支援を使って
新しい試作を作っています。

01

契約情報

取引先・工事を登録

02

受入記録

番号・数量を入力

03

処分情報

処分年月日を記録

04

確認・集計

記録確認と月次集計

05

Excel出力

処理記録を出力

番号を入力し直して、一致・不一致を確認

マニフェスト番号の入力を支える工夫

番号を入力

もう一度入力

一致・不一致を表示

管理票交付番号(11桁)

番号の再入力

91000000001

11/11

91000000001

✓ 一致

91000000002

11/11

91000000099

× 不一致

ほかにも、11桁チェック・
重複確認・数量警告・
直前操作の取り消しを実装。

現在のWeb試作の実画面（架空データ）

- 入力時の確認を支援する試作です。ミスを減らす効果は、今後実務で確かめます。

実務に合うか、これから確かめる段階です

● 実装

契約・受入／処分情報の登録、
記録の確認、固定の月次集計。

Excel出力・バックアップの
処理も実装しています。

○ 未実装

年間集計・県への報告、
電子マニフェスト関連
サービスとの連携、

複数人での共有、
ログイン・権限。

● 要確認

処分日・数量の扱いが
実務に合うか。

出力・バックアップの実動作。

出力様式・法令要件との対応。

現在の保存先は、このブラウザ内です。企業の実務データでの検証はこれからです。

画面を見ながら、実際の仕事との違いを教えてくださいと思っています。

収支管理では、必要な数字と使い道を伺いたい

現場で確認したいこと

何を判断するための数字ですか

現在、どの数字を見て仕事や経営の判断をしていますか。

どの単位で集計すると役立ちますか

毎月の確認に必要な集計の切り口を伺いたいと考えています。

産廃側で、どの費用を管理しますか

費用の範囲や、共通費の扱いを相談したいと考えています。

現在の試算：

$$\text{受入数量} \times \text{登録時の保存単価} - \text{入力した経費}$$

請求書・会計上の正式な売上や利益を示すものではありません。

対象は産廃側。
合材製造原価は含めず、
共通費の配賦ルールは未確定です。

ここから、現場の声で試作を育てたい

まず現在の業務と困りごと、どうなれば助かるかを伺います。



期待する効果と取り組みやすさを相談しながら、一つずつ改善します。

まずは 試作を見て、 率直なご意見を

まずは現在の試作を
ご覧いただき、
普段の業務との違いを
教えていただけないでしょうか。

01

普段の業務の流れを教えてください

受入から処分情報の記録・集計まで、
いつもの仕事の順番を伺います。

02

試作の画面をご覧ください

実務と違う点、使いにくい点、足りない点、
不要な点を教えてください。

03

まず改善したいことを相談する

手間がかかる作業や、どうなれば助かるかを伺います。

改善版の確認は、ご協力いただける範囲で相談させていただきます。